

vol-10 一芸卒業

今では考えられないような時代を感じるエピソードです。怖い先生であると同時に、こういう一面もあるところが夏目先生の魅力だと思えます。ちなみに生活に困っていた湯浅は、一時期漱石の家で書生として面倒を見てもらっていました。

漢籍愛

五高の教授たちは一人の生徒について悩んでいた

湯浅の卒業を認めるか否か

湯浅 藤孫

漢籍ばかり読んで

他の勉強はしていません

湯浅の卒業を認めるか否か

この点ではとても…

卒業させてやったらいいでしょう

漢学の出がいにいいだけに…

しかし、独逸語の点が足りない

湯浅の漢籍の知識はどの教授だって通わないくらいです

湯浅は無事卒業し帝大の漢学科へ入学生涯を漢学者・教育者として過ごした

厳しいは厳しかったが、真面目にさえ向かっていけばいくらでも正面から相手してくれる好い先生でした

香日ゆう著 『先生と僕 ～夏目漱石を囲む人々～』

水辺の動植物園

動植物園だより vol.53

『最も美しいキジ！』
～ニジキジ～

飼育員 内田 珠輝

今回は動植物園で飼育しているニジキジを紹介します。ニジキジは、キジ目キジ科に分類される鳥類の一種で、野生ではアフガニスタンからブータン、チベット南部にかけてのヒマラヤ山脈(標高2500～5000m)に生息しており、単独か3～4羽ほどのごく小さな群れで生活しています。全長60～70センチ、体重1.8～2.5kgほどになる大型のキジです。オス(写真手前)は艶のあるメタリック調の羽毛を持ち、背面が虹色に輝いている見た目から最も美しいキジといわれており、ネパールの国鳥にもなっています。特に、繁殖期の4～6月には一層美しい羽毛を見ることが出来ます。姿が美しいことから密猟の対象になる恐れがあるため、ワシントン条約では取引が最も規制されています。写真で見てもきれいですが、実際に見ると太陽光に照らされさらにきれいな姿を見ることができます。ぜひ、美しい羽を持つニジキジを観察しに、動植物園に遊びに来てください！

熊本城かわら版

熊本縣護國神社南側梅園の梅が見頃に！

熊本縣護國神社南側にある梅園の「紅白の梅の花」が見頃を迎えます。
※旧細川川刑部邸の梅園は開放を行いません。
※花の生育状況によっては、開花が早まったり、遅れる場合があります。



(熊本城総合事務所総務管理課 ☎096-352-5900)

第47回 定期講座「熊本城学」開催！無料

日時 2月10日(土) 午前10時～11時半
※午前9時半から受付開始・開場。
場所 城彩苑(多目的交流施設2階)
演題 「古代の「城」から熊本城へ」
熊本城築造以前の『城』と比較して、熊本城の特徴を考えます。
講師 亀田 学(熊本城調査研究センター)
定員 80人程度(当日先着順)
申込 当日直接会場へ
(熊本城調査研究センター ☎096-355-2327)

株式会社 セルモ 特別協賛

くまもと春の
植木市

熊本の春の風物詩として400年以上の歴史があり、多くの市民に親しまれている恒例のくまもと春の植木市を開催します。
本市の早春の行事として知られるくまもと春の植木市で、ぜひ春の訪れを感じてください。

期間 2月1日(木)～3月11日(月)
※2月18日(日)は、「熊本城マラソン2024」のため休園。
時間 午前9時半～午後5時
場所 JR熊本駅東側 白川橋左岸緑地
(泰平橋と白川橋の間)
内容 庭園樹、盆栽、鉢物、多肉植物などの販売

交通アクセス
など詳しくは
こちら↓

(ひごまるコール ☎096-334-1500)
(農水ブランド戦略室 ☎096-328-2410)